



SAP Ariba 

機能の概要

特定の請求書ソースドキュメントの請求書に例外の種類を適用可能に

Johan Holm, SAP Ariba

一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

導入の難易度
対象エリア

やや複雑
グローバル

説明: 特定の請求書ソースドキュメントの請求書に例外の種類を適用可能に

今までの課題

これまでは、照合に使用されるソースドキュメントのカテゴリに基づいてさまざまな請求書例外を定義する方法がありませんでした。請求書例外を注文書なし請求書、契約請求書、または注文書が一致した請求書に対して定義することはできましたが、たとえば、注文書が商品またはサービスのリリースオーダーであるのかどうかに基づいて定義することはできませんでした。このように詳細な定義ができないことが、不要な例外の発生やプロセスの効率の低さにつながっています。

SAP Ariba で問題解決

バイヤーは、請求書が一致するソースドキュメントの種類に応じて、請求書例外の種類を特定の請求書に適用することができます。たとえば、お客様がサービスオーダー請求書には特定の請求書例外を発生させ、商品の請求書にはその他の請求書例外を発生させる必要があります。以前は、この機能の一部をパラメータで制御できました。この機能では、請求書例外の種類を適用するためのすべてのオプションが 1 カ所にまとめられているため、設定が簡素化されます。

主なメリット

請求書例外の定義が拡張され、より詳細になったため、請求書処理の設定の調整が可能になり、プロセスの効率が向上します。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying
- SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件と制限事項

[顧客管理者] グループまたは [請求書管理者] グループのメンバは、請求書例外の種類を設定することができます。

[統合管理] グループのメンバは、この機能のデータ定義変更を確認して承認する必要があります。

機能の概要

概要: 特定の請求書ソースドキュメントの請求書に例外の種類を適用可能に

この機能によって、請求書例外の種類の設定に対して、いくつかの改善が提供されています。

- 関連する属性およびフィールドが論理セクションにグループ化され、保守が簡素化されます。
- [請求書カテゴリ] フィールドが [請求書のソース] に名称変更され、より絞り込まれた請求書のソース条件が導入されています。以下に例を示します。
 - 注文書あり請求書に対する例外を、通常の（商品）オーダーまたはサービスオーダーと一致した請求書に適用することができます。
 - 注文書あり請求書に対する例外を、契約あり/なしのオーダーと一致した請求書に適用することができます。
 - 注文書あり請求書に対する例外を、在庫に基づく請求書検証対象としてマークされたオーダーと一致した請求書に適用することができます。
- この機能を導入すると、関連する請求書例外の種類の種類の種類が、これまで使用されてきたパラメータで自動的に更新されます。
- InvoiceExceptionTypeValidation.csv に新しいフィールドが追加されています。

The screenshot shows the SAP Administration console for configuring an Invoice Exception Type. The main configuration area is titled "View or enter general information for the selected invoice exception type." and includes the following sections:

- Adapter Source:** External
- Unique Name:** MALineReceivedAmountVariance
- Name:** Contract Received Line Amount Variance
- Description:** The invoice item's amount, (1), is greater than the contract item's received amount, (0).
- Header Only:** Yes (selected), No
- Line Category:** Regular lines
- Line Type:** (no value)
- Invoice Source:** No-release contracts only
- Apply to Specific Invoice Types:** No, apply to all invoice types (selected), Yes, apply to specific invoice types
- Field Path To Validate:** MatchedAmountInvoicedLessDiscount
- Field Path To Validate Against:** MALineItem.AmountAcceptedInvoiceable
- Field Path Source On Dispute:** RLIAmountAcceptedLessPreviouslyInvoiced
- Field Path Target:** Amount
- Null Allowed:** Yes (selected), No
- Tolerance Operation:** Or
- Absolute Tolerance:** 1
- Apply Absolute Tolerance To Difference:** Yes (selected), No
- Percentage Tolerance:** 1.05
- Absolute Rank:** 4
- Relative Rank:** 3
- Auto Reject:** Yes (selected), No
- Ignore Auto Accept:** Yes (selected), No
- Skip Exception:** Yes (selected), No
- Group:** Invoice Agent
- Requester Allowed:** Yes (selected), No

At the bottom right, there are "Save" and "Cancel" buttons.

機能の概要

概要: 請求書のソース条件 1 (2)

請求書のソースを条件でさらに絞り込むための新機能が導入され、お客様が照合に使用するドキュメントの種類に基づいて請求書例外を調整できるようになりました。通常の設定は、[いいえ、すべての条件に適用します] です。

請求書のソースに応じて、さまざまな条件を使用することができます。すべてのドキュメントに適用される例外には、以下の条件が定義されています（複数の選択肢を適用することができます）。

- 通常の（商品）オーダー請求書
- 契約請求書
- 注文書なし請求書
- サービスシートありのサービスオーダー（サービスシートが不要な場合、オーダーは通常のオーダー請求書として処理されます）
- ブランケット注文書の請求書
- 入庫に基づく請求書検証のオーダー（GRBINV）

Header Only: ☐ Yes ☒ No ⓘ

Line Category: All line categories and line types ▼ ⓘ

Invoice Source: All documents ▼ ⓘ

Refine invoice source by conditions: ☐ No, apply to all conditions ☒ Yes, apply to specific conditions ⓘ

- ☐ Regular order
- ☐ Regular contract
- ☐ Regular non-PO ⓘ
- ☐ Service order
- ☐ Limit order
- ☐ Order marked for goods receipt-based invoice verification

Apply to Specific Invoice Types: ☒ No, apply to all invoice types ☐ Yes, apply to specific invoice types ⓘ

機能の概要

概要: 請求書のソース条件 2 (2)

注文書あり請求書、つまり、**注文書のみ**として定義された請求書のソースに適用される例外用に、条件に加えて、以下のオプションが追加されています。

- ・ 契約がないオーダー
- ・ 契約があるオーダー (リリースオーダー)

請求書のソースの絞り込みに使用できる条件は以下のとおりです。

- ・ 通常の (商品) オーダー請求書
- ・ サービスシートありのサービスオーダー (サービスシートが不要な場合、オーダーは通常のオーダー請求書として処理されます)
- ・ ブランケット注文書の請求書
- ・ 入庫に基づく請求書検証のオーダー (GRBINV)

Header Only: ☐ Yes ☒ No ⓘ

Line Category: All line categories and line types ▼ ⓘ

Invoice Source: Purchase orders only ▼ ⓘ

- ☒ Orders without contract
- ☒ Orders with contract (release orders)

Refine invoice source by conditions: ☐ No, apply to all conditions ☒ Yes, apply to specific conditions ⓘ

- ☐ Regular order
- ☐ Service order ⓘ
- ☐ Limit order
- ☐ Order marked for goods receipt-based invoice verification

Apply to Specific Invoice Types: ☒ No, apply to all invoice types ☐ Yes, apply to specific invoice types ⓘ

注: 種類が注文書なし請求書およびリリース契約請求書の請求書のソースに対して導入された追加条件はありません。

機能の概要

有効化と保守: 特定の請求書ソースドキュメントの請求書に例外の種類を適用可能に

この機能をリリースすると、お客様が介入しなくても、以下のパラメータの設定に応じて、いくつかの変更が自動的に実装されます。

- Application.Invoicing.ExcludeExceptionTypesForGRBasedInvoices
 - パラメータに追加された請求書例外に対して、条件 [在庫に基づく請求書検証の対象としてマークされているオーダー] のチェックが外されず。
 - パラメータから削除された請求書例外に対して、条件 [在庫に基づく請求書検証の対象としてマークされているオーダー] にチェックが付けられます。
- Application.Invoicing.ExcludeExceptionTypesForLimitOrderCategoryInvoices
 - パラメータに追加された請求書例外に対して、条件 [ブランク注文書] のチェックが外されます。
 - パラメータから削除された請求書例外に対して、条件 [ブランク注文書] にチェックが付けられます。

請求書例外の種類を検証データのインポート/エクスポートを介して管理されるファイル InvoiceExceptionTypeValidation.csv が更新されました。

以下の変更が適用されます。

- InvoiceCategory – 請求書のソースを定義します
- SpecialConditions (新規)
 - null – すべての条件が削除されます
 - RegularOrder
 - RegularContract
 - RegularNonAriba – UI の [なし] と同じ
 - ServiceOrder
 - LimitOrder
 - GRBased

チェックされた複数の SpecialConditions は、たとえば、「RegularOrder or ServiceOrder or LimitOrder」のように、オプションを「or」でつなげることによって実行されます。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2019 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE がライセンスする、またはその頒布業者が頒布するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社の専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。こうした予測に基づく表明は、読者には過大に信頼しないよう注意していただく必要があります。また、こうした表明を購入時の意思決定における根拠とすることも望ましくありません。

SAP、ならびに本書に記載するその他の SAP の製品およびサービスは、そのそれぞれのロゴとともに、ドイツおよびその他の国々における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/copyright をご覧ください。